

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	山野 大星		〒 144-8655 (住所) 東京都大田区西蒲田5-23-22 (電話) 03-3732-1111				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日	千葉 茂		〒 144-8655 (住所) 東京都大田区西蒲田5-23-22 (電話) 03-6424-1111				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
文化・教養	芸術専門課程	ダンスパフォーマンス科		平成20(2008)年度	-	令和 2(2020)年度			
学科の目的	ダンス業界において最も必要とされている偏りのない基礎をマスターしたマルチダンサーの育成及び社会人としての基礎力を持った人材の育成を目的とする。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ビジネス能力検定 60名合格、ダレデモダンスベーシックライセンス 105名合格 中途退学者 15名(7.9%)								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,755 単位時間	435 単位時間	0 単位時間	2,010 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
				単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)				
160人	223人		0人		0%				
就職等の状況	■卒業生数(C)		80人						
	■就職希望者数(D)		47人						
	■就職者数(E)		45人						
	■地元就職者数(F)		24人						
	■就職率(E/D)		96%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		53%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		56%						
	■進学者数		1人						
	■その他								
			・デビュー(芸能プロダクションとマネージメント契約)12名 ・その他16名 (令和 4年度卒業者に関する令和 4年5月1日時点の情報)						
		■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 音楽・エンターテインメント・ダンス・スポーツ業界 等(志摩スペイン村、ソニーミュージックソリューションズ、東京ダンスヴィレッジ 等)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無						
当該学科のホームページURL	http://www.neec.ac.jp/department/design/graphics/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)		総授業時数		2,415 単位時間				
			うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		1,845 単位時間				
				うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間			
				うち必修授業時数		1,380 単位時間			
				うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		1,170 単位時間			
				うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間			
				(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		15 単位時間			
		(B: 単位数による算定)		総授業時数		単位			
				うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位			
				うち企業等と連携した演習の授業時数		単位			
				うち必修授業時数		単位			
				うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位			
				うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位			
				(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		2人				
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		3人				
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人				
	計				5人				
		上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		4人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
ダンス分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またダンス分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。
また、教育課程編成委員会の意見は科内会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前山 善憲	一般社団法人 ストリートダンス協会 専門委員長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	①
保屋松 靖人	エイベックス&ヒロツパイオ・エンパワー合同会社 代表	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	③
櫻井 翔	株式会社アノマリー	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	③
出澤 茂雄	株式会社expg family	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	③
山野 大星	日本工学院専門学校 校長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	—
中村 英詞	日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ カレッジ長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	—
三山 慶人	日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科 主任	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	—
大塚 勝哉	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 課長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

2022年8月31日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ禍が明けた本年度の音楽、ダンス業界の現状とイベント開催数について。オンラインにおけるダンス教育の方向性に関してミーティング。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ダンスレッスンはトータルプロデューサーSAM氏推薦のプロダンサーによるレッスンとし、時代のニーズにあった人選を毎年行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ダンスレッスンはトータルプロデューサーSAM氏推薦の現役プロダンサーの直接指導とし、HIPHOP、HOUSE、JAZZ、バレエ、コンテンポラリー、オールドスクール6つのジャンルを全員必修としている。さらに自身のダンススタイルに合わせた選択レッスン、進路に直結する専攻でレッスンを構成。前期、後期それぞれ実技テストを行い各ジャンルのレベルを評価。また年4回のショウケース、1年間の集大成としての修了・卒業公演であるGEM STONESHOWCASEをSAM氏完全プロデュースのもとに実施。講義科目は卒業後の社会人としてのスキル修得を目的とした科目で構成、前期・後期それぞれ筆記テストで評価。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
HIPHOP1	ソウルダンスから発展したステップやレゲエのステップ、ポップ、ウェーブ等を取り入れたスタイル。ポッピンからロックンまでを網羅した初中級レッスン	ネクストジャパン株式会社
HIPHOP2	ソウルダンスから発展したステップやレゲエのステップ、ポップ、ウェーブ等を取り入れたスタイル。ポッピンからロックンまでを網羅した初中級レッスン	ネクストジャパン株式会社
JAZZ1	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズダンスのレッスン。クラブテクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応します。	ネクストジャパン株式会社
JAZZ2	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズダンスのレッスン。クラブテクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応します。	ネクストジャパン株式会社
BALLET1	経験者、未経験者に関わらず、各自のレベルに合わせて体の基盤を作り、顔の表情、つま先から指先までのしなやかな表現力を身に付ける	ネクストジャパン株式会社
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 講義と実習(ダンスレッスン)の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。		
(2) 研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	「ダンス&ヴォーカルの育成方法に関して」	連携企業等: 株式会社expg family
期間:	2022年3月20日	対象: ダンスパフォーマンス 科教職員
内容	需要が増えているダンス&ヴォーカル専攻の授業内容の改善点、今後業界としてどのような人材が必要かを学ぶ	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	「新体操における評価観点・評価基準(個人/団体種目)」	連携企業等: 株式会社ホットスタッフ
期間:	2022年8月31日	対象: ダンスパフォーマンス 科教職員
内容	・芸術点・技術点について。とりわけ芸術点についての考え方>学生の芸術的感性の評価方法 ・代表選出に至る評価プロセス>学生の前・後期評価についての客観性 ・評価から導きだされた課題の克服方法>学生の課題克服へ向けた取り組み方法	
(3) 研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	「ダンスイベントのオンライン中継に関して」	連携企業等: ネクストジャパン株式会社
期間:	2022年10月予定	対象: ダンスパフォーマンス 科教職員
内容	ダンスイベントの中継方法、プラットフォームの選択と特徴、注意すべき点について学ぶ	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	「AIの教育活用の可能性と現状に関して」	連携企業等: ネクストジャパン株式会社
期間:	2023年8月予定	対象: ダンスパフォーマンス 科教職員
内容	AIの種類、何が出来るのか、教育におけるAI活用の可能性について学ぶ	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	○○○○○

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないかと。
- 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在学中のヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	IT企業等委員 /卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
平川 進	株式会社テレビ神奈川ecom事業局 ecom事業部	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員/ 卒業生委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	クリエイターズ/ デザイン企業等委員
西川 恭子	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部长	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	学校関連

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.neec.ac.jp/public/>

公表時期: 令和5年9月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11) その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.neec.ac.jp/public/>

公表時期: 令和5年9月30日

授業科目等の概要

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			キャリアプランニング1	自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
2	○			キャリアプランニング2	自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
3	○			資格対策講座1	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1・前	15	1	○			○		○		
4	○			資格対策講座2	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1・後	15	1	○			○		○		
5			○	スポーツ実習1	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	1・前	30	2			○	○		○		
6	○			ビジネストレーニング1	PC操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	1・前	15	1	○			○		○		
7	○			ビジネストレーニング2	PC操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	1・後	15	1	○			○		○		
8	○			外国語1	ダンサーとして世界で活躍できるよう外国語を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
9	○			外国語2	ダンサーとして世界で活躍できるよう外国語を学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
10	○			BALLET 1	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	1・前	30	1			○	○				○
11	○			BALLET 2	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	1・後	30	1			○	○				○
12	○			CONTEMPORARY 1	骨格や関節、筋肉などのメカニズムを学び、基本的な体のエクササイズ、ストレッチ法を修得します。一つ一つの踊りを解体し理解する事で自己の動きに対する深い意識を育て、創造性や感覚を磨きます。	1・前	30	1			○	○				○

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
								講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択 必修	自由 選択													
13	○		CONTEMPORARY 2	骨格や関節、筋肉などのメカニズムを学び、基本的な体のエクササイズ、ストレッチ法を修得します。一つ一つの踊りを解体し理解する事で自己の動きに対する深い意識を育て、創造性や感覚を磨きます。	1・後	30	1			○	○				○
14	○		HIP HOP 1	HIP HOP における力強い振付を踊りこなす筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・前	30	1			○	○				○ ○
15	○		HIP HOP 2	HIP HOP における力強い振付を踊りこなす筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・前	30	1			○	○				○ ○
16	○		HIP HOP 3	HIP HOP における力強い振付を踊りこなす筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・後	30	1			○	○				○ ○
17	○		HIP HOP 4	HIP HOP における力強い振付を踊りこなす筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・後	30	1			○	○				○ ○
18	○		HOUSE 1	ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	1・前	30	1			○	○				○ ○
19	○		HOUSE 2	ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	1・後	30	1			○	○				○ ○
20	○		JAZZ 1	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズ・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・前	30	1			○	○				○ ○
21	○		JAZZ 2	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズ・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・前	30	1			○	○				○ ○
22	○		JAZZ 3	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズ・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・後	30	1			○	○				○ ○

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
23	○			JAZZ 4	ダンスの主流分野で最もニーズのあるジャズ・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・後	30	1			○	○			○	○
24	○			OLD SCHOOL 1	OLD SCHOOL を代表するジャンルであるブレイクダンス、ロックダンス、ポップの基本ステップや体の動きをレッスンを通して修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
25	○			OLD SCHOOL 2	OLD SCHOOL を代表するジャンルであるブレイクダンス、ロックダンス、ポップの基本ステップや体の動きをレッスンを通して修得します。	1・後	30	1			○	○			○	○
26	○			プロフェッショナルダンス1	HIP HOP、HOUSE、コンテンポラリー、JAZZ、バレエのプロダンサーになるために実技系レッスンをを行います。修了公演の内容も含まれます。	1・後	120	4			○	○				○
27			○	専攻ダンススキル1	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
28			○	専攻ダンススキル2	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
29			○	専攻ダンススキル3	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
30			○	専攻ダンススキル4	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
31			○	選択ダンススキル1	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
32			○	選択ダンススキル2	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
33			○	選択ダンススキル3	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
34			○	選択ダンススキル4	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
35			○	選択ダンススキル5	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	2			○	○			○	○

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
36	○			ベーシックスキル1	社会人になるにあたって必要な知識、ダンス業界で必要な知識、音楽知識などを学びます。	1・前	15	1	○			○			○	○
37	○			ベーシックスキル2	社会人になるにあたって必要な知識、ダンス業界で必要な知識、音楽知識などを学びます。	1・後	15	1	○			○			○	○
38			○	ライブステージ鑑賞1	プロアーティストの生演奏や講演などを聴き、アーティストおよび周辺も含めたプロの技術を学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
39			○	キャリアゼミ1	ダンス業界で成功しているプロダンサー、OBOG をゲストに招きこの2年間で何が必要なのかを学びます。	1・通	30	2	○			○		○		
40			○	イベント実習1	学科主催の定期公演を企画制作し、出演することでイベント制作から出演者として必要なスキルを身に着けます。	2・通	30	1			○	○				○
41			○	ボランティア1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。	1・通	30	2			○	○		○		
42			○	特別講義1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	15	1	○			○			○	
43			○	特別講義2	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・後	15	1	○			○			○	
44			○	海外研修	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体験します。(研修先・行程は毎年異なります。)	1・後	15	1			○	○		○		
45			○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	1・後	15	1			○	○			○	
46	○			キャリアプランニング3	入学後から卒業後までの自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
47	○			キャリアプランニング4	入学後から卒業後までの自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	2・後	15	1	○			○			○	
48			○	資格対策講座3	ビジネス能力検定(B検) ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○			○			○	
49			○	資格対策講座4	ビジネス能力検定(B検) ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・後	15	1	○			○			○	

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			○	スポーツ実習2	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	2・前	30	1			○	○		○		
	○			ビジネストレーニング3	PC操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	2・前	15	1	○			○		○		
	○			ビジネストレーニング4	PC操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	2・後	15	1	○			○		○		
	○			BALLET3	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	2・前	30	1			○	○			○	○
	○			BALLET4	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	2・後	30	1			○	○			○	○
	○			CONTEMPORARY3	最も芸術的で前衛演劇的な要素の強い振付を行うコンテンポラリーには、最高レベルの身体表現テクニックが必要です。	2・前	30	1			○	○			○	○
	○			CONTEMPORARY4	最も芸術的で前衛演劇的な要素の強い振付を行うコンテンポラリーには、最高レベルの身体表現テクニックが必要です。	2・後	30	1			○	○			○	○
合計						89		科目		101 (2415)			単位 (単位時間)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業時に必修科目1380時間(54単位)および選択科目375時間(12単位)以上取得し、合計1755時間(66単位)以上取得すること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：1年次は必修750時間、選択科目165時間以上履修すること 2年次は必修630時間、選択科目210時間以上履修すること		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。